

# ふじみ園だより



## コロナ禍を超えて

園長 三井 貞男

コロナ禍のもとで新年度を迎えるのも四年目になりました。ふじみ園においても、緊急避難的な対応だけでなく、なおコロナ禍が続くことを前提にした障害福祉サービスの提供に取り組む必要があると考えています。

例えば、利用者の適切な運動量の確保や、うるおいのある生活に配慮した日中活動、外出機会の提供などに努めてまいります。

また、昨年度は、「消防計画」や「災害対策マニュアル」などを見直しましたが、今年度は、「虐待防止マニュアル」を職員全体で見直すことにしています。

このように、中期経営計画に掲げた様々な課題に取り組むとともに、地域のニーズに応え、求められる役割を果たしていくことを通じて、経営基盤の強化とサービスの向上に努めてまいります。

引き続き、皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



## ええもん市に出品した作品が受賞しました

障害者理解のための普及啓発イベントである、「うたづええもん市」に利用者の作品を応募したところ、なんと議長賞と優秀賞を受賞しました。今年のテーマは「コロナに負けるな!」。作品に込められた想いを感じ取っていただけたら嬉しいです。

# だいち



## 季節の行事

利用者が毎月楽しみにされている、お楽しみ会♪ 12月に「クリスマス会」、1月は「福笑い」、2月は「豆まき」を開催しました。皆さんに楽しんでいただけるよう、工夫して開催しています。



## 虐待防止・権利擁護のコーナー



2月に全職員対象の虐待防止セルフチェックを実施しました。園では年2回セルフチェックを行っています。その結果をもとに虐待研修でグループワークを行い、職員それぞれの意見を知る機会の場を開いています。

また、外部講師に香川大学教育学部教授 坂井聡先生をお招きし、利用者の個別支援のアドバイスをいただきました。坂井先生は障がい者教育支援のスペシャリストであり、毎年利用者側の視点で寄り添った支援を具体的にご教授いただいております。

これからも利用者が安心して自分らしく生活していけることを目指して、困った時に相談し合え、虐待のない支援ができるよう取り組んでいきたいと思っております。

虐待防止マネージャー だいち 川崎

## だいち就労

春に向けて、作業棟周りの木々の枝を切り、除草しました。

みんなで頑張って、とってもきれいになり、葉や枝で隠れていた作業棟が明るくなりました。





# 成人の祝い

おおぞら

1月12日晴天のもと「成人の祝い」を行いました。  
20歳を迎えられた一柳愛美（いちりゅうまなみ）さんに、  
今後の健康と成長を願って記念品の贈呈と記念撮影を行いました。

職員一同今後の成長を見守っていきたいと思っています。



# 節分で鬼退治



高校野球で仕上がった体の赤鬼と身長180cmもある黄鬼が寮内を駆け回り大暴れ。みんなで力を合わせ、今年も無事に鬼を追い払うことが出来ました。



# バレンタイン



2月の誕生日会ではバレンタインに合わせてチョコレートブラウニーを頂きました。入れ物もかわいくチョコの香りが口いっぱいに広がりました。



私の座右の銘に「一隅を照らす」という言葉があります。  
この言葉は、天台宗の開祖・最澄の言葉で「一隅を照らすこれ即ち国宝なり」からとられています。  
お金や財宝は国の宝ではなく、家庭や職場など自分自身が置かれたその場所で、精一杯努力し、明るく光り輝くことの出来る人こそ、何事にも変えがたい貴い国の宝であるとの意味です。  
まず目の前のこと、今自分にできることを一生懸命にやる。そうやって一人一人が灯す小さな光がやがて大きな光となり、社会全体を明るく光らせる事が出来るのです。私も、自分の持ち場で精一杯努力し、「一隅を照らす」ことが出来るようになりたいと思います。

おおぞらA 詮間



## 自閉症啓発デーをご存じですか？

毎年4月2日は国連が定めた『世界自閉症啓発デー』です。また、4月2日から4月8日までの1週間は「発達障害啓発週間」として、国・各自治体・関係団体が、広く発達障害についての理解と支援を呼びかける活動を行っています。『世界自閉症啓発デー』には、世界各地（172ヵ国以上）のランドマークが、シンボルカラーであるブルーでライトアップされビッグムーブメントとなっています。

日本一高い石垣のお城『丸亀城』もブルーライトアップされていました！ご覧になった方もいると思います。もし、見逃した方は来年の4月に見て下さい。香川県には他にも何か所かブルーライトアップされているところがあります。皆さんに自閉症と発達障害について理解して頂く機会になればと思います。



## 人事異動

### 【昇格】

詫間 貴裕（生活支援課課長代理）  
 山地 真紀（地域支援課課長代理）  
 山口 法子（生活支援課主任）  
 北条 香里（生活・就労支援課主任）  
 西藪可奈子（生活支援課主査）

亀井 進吾（生活支援課主査）

奈良 淳史（生活・就労支援課主査）

### 【配置換等（新所属先）】

久保 和生（おおぞら）  
 草薙 恵（だいち）  
 馬屋原美希（だいち）

### 【採用】

池添 由衣（おおぞら）  
 宮内 康成（おおぞら）  
 西本 明子（だいち）  
 西村 律子（地域支援課）  
 金崎 敬弘（地域支援課）

## 退職者からのメッセージ

### 大久保 里香

利用者様、保護者様、職員の皆様には大変お世話になりました。優しい言葉に・優しい行動に・優しい笑顔に・心からの優しさを沢山頂いた日々でした。いつもありがたいなと思い、嬉しい気持ちでいっぱいでした。感謝です。ありがとうございました。

### 日下 香

この3年間、たくさんの事を学ばせてもらいました。利用者の方への接し方1つにしても、それぞれに合った接し方がある事が分かりました。成長できたか分かりませんが、少しでも変わったかなと思います。次の所でも、学んだ事を発揮したいです。

### 長谷川 理恵

ふじみ園で34年、周りの皆様のご指導のもと、利用者さんに癒され、一喜一憂しながら、多くのことを教えていただきました。今は、感謝の気持ちでいっぱいです。今後のコロナの終息を願い、ふじみ園のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

### 湯淺 政勝

2年間ありがとうございました。最初の頃はとまどう事も多く、利用者をはじめ周りの皆様に助けられ、学びの多い時間を過ごす事が出来、感謝いたしております。そして、今後のふじみ園の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

## スヌーズレン研修

令和4年12月5日に日本スヌーズレン協会会長兼理事の太田篤志先生をお招きして、職員研修を行いました。内容はスヌーズレンの基礎についてです。

研修は「あなたは、あなたの大切な人との時間をどう過ごしますか？・・・それが利用者との時間です」という言葉から始まり、利用者に快適な感覚環境を提供するだけでなく、利用者に関わる支援員であるパートナーの存在がとても大切だということを私たちに教えて下さいました。

キーワードは『オープンゴール』。オープンゴールとは利用者と職員が関わっていく中で職員側の思いを実現するのではなく、非指示的な環境の中で楽しい時間を提供することで利用者に変化していく、その行きついた先がゴールだと言う事です。これは統計のような数値で表すには少し難しい概念にはなりますが、利用者に寄り添う中でこれまで見られなかった表情、表現や動きを捉えていき、より充実した時間を提供できるようになればと思います。



## 令和5年度スプリングフェスタ開催について

今年度のスプリングフェスタは下記の通り、花・野菜苗の販売会を行います。皆様のご来園をお待ちしております。

販売期間  
 令和5年4月19日(木)～4月28日(金) (土日除く)  
 時間  
 9時～12時  
 場所  
 園内ハウス

※園入り口に案内看板を設置しています。  
 ※マスク着用のご協力をお願いします。

Thank You!

温かい心を  
 ありがとう

(敬称略)

【ボランティア】

飯山南婦人会

